

# 進路「夢」実現



進路だより 第4号  
平成30年3月6日発行  
大笹生支援学校進路指導部

保護者の皆様には、日ごろから本校進路指導へのご協力に対して、深く感謝申し上げます。

本年度は、小学部16名、中学部17名、高等部25名の児童生徒がそれぞれの学部を卒業します。

高等部卒業生もほぼ進路先が決まり、それぞれ社会人として巣立ちます。平成29年度各学部卒業生の進路先状況は、以下の通りです。

## ●小学部卒業生 16名

進学（16）	本校中学部進学予定（16）
--------	---------------

## ●中学部卒業生 17名

進学（15）	本校高等部進学希望（15） 未定（2）
--------	------------------------

## ●高等部卒業生 25名

分類	進路先区分	人数	進路予定先
就職	企業	2名	・株式会社イトーヨーカ堂福島店 ・野田鉄工有限会社
障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業所	就労移行支援	2名	・有限会社すずらん工房 ・株式会社アイエフエスネットライフ福島
	就労継続支援A型事業所	2名	・NPO 法人天使の唄桑の実 ・同仁社スマイルもんも
	就労継続支援B型事業所	10名	・社会福祉法人しのぶ福祉会あづま授産所 ・社会福祉法人けやきの村けやきの村（2名） ・NPO 法人ふくしまウオームネット杜の花 ・就労支援センター福島福祉カレッジ ・NPO 法人たけの子の家 ・NPO 法人ボネール福祉ハウスボネール ・NPO 法人ひろせ工房ひろせ（2名） ・メルベエイク仙台
	生活介護事業所	5名	・社会福祉法人つどい福祉会もちずりワーク ・社会福祉法人つばさ福祉会おぞらの夢 ・社会福祉法人つばさ福祉会父の夢 ・社会福祉法人陽光会きらら ・むつみクリニック鈴と小鳥
	障害者支援施設（入所型）	1名	・福島県大笹生学園（入所型児童施設で待機）
その他		3名	

## フレッシュ就労体験を終えて

高等部1年1組 M. S

私はc a f e 桑の実でフレッシュ就労をさせていただきました。期間は、1月29日から2月2日までの5日間でした。

初日は、どのような仕事をするのだろうとすごく不安でした。でも、職場のみなさんが優しく教えてくださったので安心して仕事ことができました。仕事内容は、洗い物、食器ふき、野菜の皮むき、玉ねぎのみじん切り、サラダ作りなどいろいろなことを体験させていただきました。その中で、玉ねぎのみじん切りが大変でした。

今回、実習をして大変だと思ったことは、「衛生面」です。料理でつかう道具は必ず消毒したり、調理をする前に手を洗うことなどしていました。もう一つ大切だと思ったことは、「大きな声です」。職場の皆さんは集中して仕事をしているので、声が小さいと聞こえない時があります。なので、大きな声は大切だと思いました。

今回の、実習での体験を生かして勉強などを頑張っていきたいと思います。

高等部教諭 平野 留美

フレッシュ就労体験では、株式会社ハッピーケア様、就労継続支援A型事業所 Café 桑の実様のご協力のもと、高等部1年生の4名が5日間実習を行わせていただきました。株式会社ハッピーケア様では、店舗や工場、倉庫など見学をさせていただき、レンタル介護用品が実際にどのような流れで利用されているのかまで見せていただき、作業をさせていただきました。Café 桑の実様では、提供されるサラダの調理作業や菓子類の販売にまで同行させていただきました。実習最終日には、実習生それぞれにあたたかい励ましのメッセージまでいただき、生徒にとってこれからの学習への何よりの励みになったようです。今後は、今回の経験をもとに2年生での現場実習や卒業後の進路先の選択など卒業後の社会参加に向けた課題を探りながらこれからの取り組みにつなげていきたいと思います。最後になりましたが、実習を受け入れまた、ご指導くださいました事業所の方々に感謝申し上げます。

## 今年度の進路指導を振り返って

小学部教諭 木村 野麦

様々な個性がきらりと光る6年生。一人ひとりの子どもたちの個性や、「やってみたい」「たのしい」を大切にしながら、仲間と一緒に実際の生活に根差した体験的な学習を積み重ねてきました。私は今の6年生とは4年生の頃から関わらせていただきましたが、学級や学年を超えた様々な友達や先生との関わりや学習の中で、「友達がいてうれしい」「友達が一緒だからより楽しい、頑張れる」経験を積むことで、様々な人への関わりが広がってきたように思います。

特に6年生では、太陽祭や学部での行事の運営、「まな板山郵便局」などの最上級生としての仕事などが増え、6年生一丸となってみんなで団結して取り組んできました。仲間と手ごたえややりがいのある活動を共にし、満足感や達成感を味わう中で、自分の役割や価値を見出して自信をもって生き生きと活動する姿が見られました。これらの経験は、社会の中で一人ひとりがその人らしい力と個性を發揮し、自分らしく豊かに生きることへとつながっていくのだと思います。

中学部でも社会参加と自立を目指し、一人ひとりが自分の力を存分に發揮しながら、互いを認め合って仲間と共に様々なことに挑戦して行ってほしいと思います。



## 中学部教諭 鈴木 美香

中学部3年生の進路学習について紹介します。3学年では、自分の将来について考える機会を設け、作業学習をはじめとする日々の学習に一生懸命取り組んできました。大笹生支援学校高等部への進学に向けて国語、数学の練習問題や面接の練習に取り組みました。9月には、本校高等部の7つの作業班見学を行い、働く上で大切な姿勢を学ぶことができました。11月には、2週間の校内作業班での実習を通して、働くことの厳しさや喜びを知ることができました。

また、本校高等部の校内実習のカレンダー班、割り箸班、クリーン活動班、タオルたたみ班で体験学習を行いました。実際に先輩が働く様子を見学したり、作業を体験したりして、自分自身の進路について考える良い機会となりました。生徒からは、「高等部に入学したら、クリーン活動班で頑張りたい。」などの希望も聞かれるようになりました。

生徒一人一人が高等部生活や新しい生活に夢と希望を持って、充実した生活を送ってほしいと心から願っています。

## 高等部教諭 三浦 志帆

卒業生の皆さん、皆さんにとって高等部の3年間はいかがでしたか。3年間、進路実現に向けて、一人ひとり本当に頑張ったと思います。1年生の時から作業学習、校内実習、福祉・一般事業所の見学学習を行い、2年生、3年生では、校外での産業現場等における実習も行い、働くことの大切さや厳しさなど、様々なことを学び、経験をしてきたと思います。皆さんは、4月から社会人になります。これから先、辛いことや悲しいことがあるかもしれません。そんな時こそ、大笹生支援学校で培った自分の力を信じてがんばってください。皆さんなら、乗り越えられる力があります。そして、皆さんには素敵な笑顔があります。辛い時こそ笑顔を忘れないでいてください。応援しています。それでも困ったことがあれば、学校に連絡をください。待っています。

最後になりましたが、保護者の皆様には、これまでたくさんのご支援・ご協力いただきましたことに心から感謝申し上げます。

# 高等部卒業生から

## 高等部3年1組 M. S

私は、卒業したら野田鉄工有限会社「ハウスクリーニングと自動車ルームクリーニング」に就職することになりました。これまで、クリーニングや介護用品の清掃、仕事など複数の職場での実習を積むことができました。どんな仕事が自分にあっているのか、なぜ働くのか悩む時期もありましたが、クリーン活動班で身につけた技術が生かせる職場に最後に出会うことができました。決められた時間の中で、窓掃除や台所の油落とし、エアコンの部品洗い、清掃活動など細かな技術やていねいに早くやることを要求されますが、もっと上手になりたいという気持ちが強くなりました。最後までていねいに仕事をする、周りの人とうまく話せるようになることが課題です。長く仕事を続けられるように頑張りたいと思います。

## 高等部3年3組 K. K

私は、高等部卒業後、「杜の花」さんで働きます。杜の花さんには、後期の現場実習でお世話になり、お菓子作りや市役所でのお弁当販売などを経験することができました。

実習中は、職員の皆さんからいつも優しく接していただき、卒業後は、ぜひここで働きたいと思いました。杜の花さんでは、私の好きなお菓子作りのほかにも、革製品や刺し子製品作りの仕事もあるので、そうした新しい仕事にも積極的に挑戦していきたいです。

私は、この3年間、たくさんのお話を高等部で学ぶことができました。それらを今後の生活の中で生かし、友達や先生方との楽しかった思い出を大切にこれからも頑張っていきたいと思います。